

盛岡市立杜陵小学校 学校だより

校訓：大志



教育目標

- ・明るく思いやりのある子
- ・進んで学習する子
- ・健康でたくましい子



令和7年4月11日 NO1

入学おめでとうございます！ ～元気な31名の1年生が入学しました～

4月8日(火)に令和7年度の入学式を開催しました。今年度の新入生は、31名でした。式の中で、子どもたちは、元気にお返事ができました。また、式辞や祝辞のなかでの「おめでとうございます。」の言葉に対して、自然に「ありがとうございます。」という言葉が返すことができていました。素晴らしい子どもたちの姿に大変感心しました。話をしっかりと聞く下地ができている子どもたちです。今後の成長がますます楽しみになりました。

また、上級生の代表として式に参加した6年生の姿も大変立派なものでした。「君が代」や「校歌」の際には、大きな歌声を響かせてくれましたし、式の準備や片付けにも一生懸命に取り組んでくれました。全校のリーダーとして、大変頼もしい姿を見せてくれました。



令和7年度のスタート ～ 全校児童 192名で楽しい学校作りを進めます ～

令和7年度の教育活動がスタートしました。子どもたちの登校の様子は、希望に満ち溢れています。「明るく」「さわやかな」あいさつを交わすことができる子どもたちの姿に保護者の方々の確かな家庭教育と、杜陵小学校が脈々と積み上げてきた確かな教育を感じます。

4月9日からは、6年生による1年生の生活や学習のお手伝い活動が始まりました。6年生は、1年生との関りを通して、また一回り成長することでしょう。



・コロナの時代を経験して、再認識させられたのは、「人と人とのかかわりの大切さ」です。「子どもと子ども」「子どもと地域・大人」のかかわりを大切に教育活動を進めていきたいと考えています。



○児童の登校の様子

時間があるときは、校門で登校の様子を見守っていますが、小学生はもちろん、中学生も、高校生も、しっかりと挨拶を交わすことができる地域の力に感激しています。

盛岡城址公園や中津川など恵まれた自然環境、空調設備も整備された清潔で落ち着いた学校環境、温かで美しい言葉で満ちた言語環境の中で教育活動が進められることに大きな喜びと責任の大きさを感じています。教職員全員で、子どもたちの充実した学校生活のために努力していきます。



「どんな学級にした
いか？」について、
熱心に話し合う
4年2組の子供たち



先生のお話（自己
紹介）を、「笑顔」
で聞く3年生の子ど
もたち

令和7年度の学校経営について

詳細は、4月26日(土)の「父母と教師の会総会」でも説明いたしますが、今年度の学校経営の重点についてお知らせします。杜陵小学校の子どもたちの「良さ」を大切にしながら、よりよい学校作りを進めていきます。

毎日の授業の中で、子どもたちの「良さ」を認め、価値付けていきます。そして、その力を、様々な行事の中で発揮させていきたいと考えています。

変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

盛岡市立杜陵小学校学校経営グランドデザイン

日本国憲法等諸法令
学習指導要領
岩手県教育指針
盛岡市教育指針

児童の実態

- 明るく素直な児童が多い。
- 資質・能力が全体的に高い。

「明るく素直」で「大きな可能性を秘めている」杜陵小の子どもたちの「良さ」を更に伸ばしていくことを目指します。

地域の実態

- 清流中津川、盛岡城跡公園、肴町商店街等、豊かな教育環境が整っている。
- 温かく協力的な人的環境に恵まれている。

(校訓) 大志 —常に大道を歩み、大道を拓く人間—

互いに磨き合い、心身ともにたくましく人間味豊かで、常に自ら学び生み出していく子供の育成

学校教育目標	明るく思いやりのある子(徳)	進んで学習する子(知)	健康でたくましい子(体)
知識及び技能	命の尊さ、人とのつながりの大切さを理解すること	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得すること	健康や安全についての知識及び技能を身に付けること
思考力・判断力・表現力等	周りの「もの・こと・人」に自ら気付き、考え、行動すること	身に付けた知識及び技能を活用し、課題を発見し解決すること	自分の命や安全を守るために、考え、行動すること
学びに向かう力・人間性	思いやりの気持ちを持ち、よりよい生活を創ろうとすること	他者と協働的に学ぶこと 主体的に学習に取り組むこと	目標に向かって、根気強く取り組むこと

【今年度の重点】 子供一人一人が認められ、「わかる、できる、(子供が) 生きる」学校、主体的に学び、行動し、互いに磨き合う学校づくりを推進する。生徒指導の実践上の4つの視点(生徒指導提要参照)をすべての教育活動に意識的に位置付け、生徒指導と教科指導の一体化を図り、校訓「大志」、学校の教育目標の実現を目指す。

教師：生徒指導の実践上の視点→ 児童：「分かる、できる、認められる」喜びと自信

【目指す児童像】 主体的に考え、行動する児童

生活科・総合的な学習の時間の充実

発達支持的生徒指導による温かい学級経営の充実

子ども一人一人の「よさ」を、教師が「認め」、学級集団の中に、しっかりと「価値付ける」ことを大切にしていきます。

※主体的に考え、行動する児童の育成のためには、学校行事や学級・学年の行事・「総合的な学習の時間」の学びなどを、子ども主体で行っていくことが大切です。

行事と学習を更に「子ども主体」に充実させていきます。